

# 学校統合の今

少子化にともない、児童生徒の数が減り、市内の小中学校の多くが小規模校となりました。小規模校には小規模校の良さがある一方、小規模校ゆえの課題もあります。市では、保護者や地域の理解を得ながら学校統合を進めています。学校統合の現状や、平成28年に統合を経験した梁川小学校の皆さんの声を紹介いたします。

## 減少する児童生徒数

少子化にともない、本市の児童生徒数は年々減少しており、合併時（平成18年度）と平成30年度を比較すると、約2300人減少しています（図1参照）。また、地域別に見ると、伊達地域以外で児童生徒数が大きく減少していることがわかります（図2参照）。

定しました。この計画は、複式学級（2つ以上の学年をひとつにして編制した学級）の解消を図ることとしており、小学校は1学年1学級以上、中学校は1学年2学級以上を適正な規模としていきます。

## 学校の小規模化に対応

小規模校には、児童生徒一人一人に目が届きやすく、きめ細かい指導を行いやすい、お互いの人間関係を深めやすいなどのメリットがあります。その反面、児童生徒数が一定数ある学校には、人間関

係が固定化せず、多様な考え方に触れる機会が増えるというメリットがあります。学校統合は、このような課題に対応し、伊達市の未来を担う子どもたちが、豊かな心と健やかな身体を育むことができる教育環境を実現することを目指しています。

## 今後の計画

平成31年4月に富成小学校を上保原小学校に統合します。月館地域では、月館中学校を拠点校とした小中一貫校を平成32年4月に開校します。

## 上保原小と富成小の統合

### 平成31年4月の統合に向けて

保原地域の富成小学校と上保原小学校では、保護者、地域自治組織に統合について同意が得られたことから、今年4月の統合に向けて準備を進めてきました。これまでに両校の児童の交流事業を3回実施し、合同授業などを行ってきました。また、上保原小学校に統合後もスクールカウンセラーに相談できる体制を整備するなど、

児童の心のケアにも配慮していきます。

上保原小学校では、リンゴ栽培や稲作の体験を実施するなど、地域との関係が継続できるようにします。

上保原小学校5年 吉田 雅稀さん



### Voice★

学校がなくなるのは寂しいけれど、何でも気軽に話せる友達を上保原小でも作りたいです。



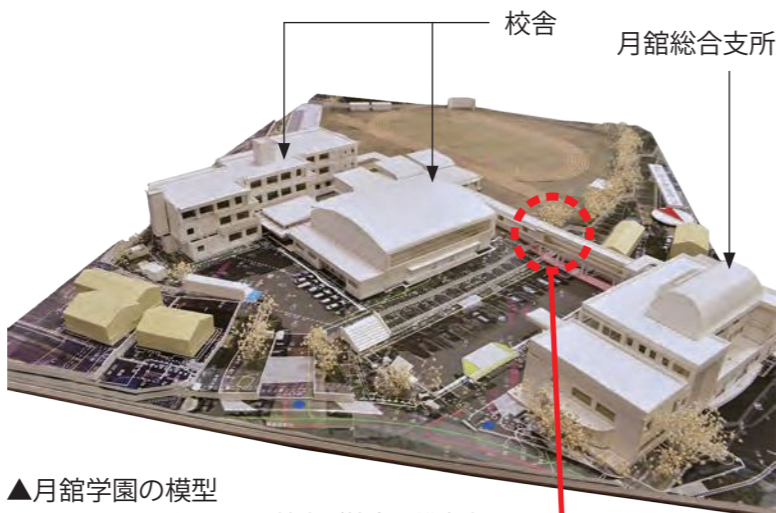
富成小学校5年 佐藤 美瑚さん

### Voice★

4月からは、休み時間にドッジボールや鬼ごっこなど楽しいことを一緒にしたいと思います。みんなで優しく接したり、楽しく遊んだりして、富成小のみんなには、不安をなくして過ごしてもらえようようにしたいです。

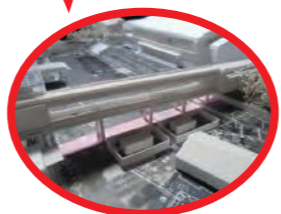
※学年は平成30年度時点

## 小中一貫校 月館学園



▲月館学園の模型

拡大（校舎と総合支所をつなぐ連絡通路）



支所内に家庭科室・音楽室を設置し、学校の特別教室として使用するほか、地域住民にも開放し、生涯学習の場としても活用を図ります。子どもたちが放課後に集まる場所としても月館総合支所を活用し、1階東側に学習室兼バス待合所、2階に放課後児童クラブを設置します。また、スクールコミュニティを設け、学校と地域の交流を担う施設としても活用する予定です。

## 子どもの未来を育む学校

地域コミュニティの中心を担う月館小学校、小手小学校、月館中学校を集約した、伊達市初の小中一貫校「月館学園」を平成32年4月に開校します。月館学園の校舎は、月館総合支所と連絡通路でつなぎ、月館総合支所の一部を校舎として利用します。月館総合支所内に家庭科室・音楽室を設置し、学校の特別教室として使用するほか、地域住民にも開放し、生涯学習の場としても活用を図ります。子どもたちが放課後に集まる場所としても月館総合支所を活用し、1階東側に学習室兼バス待合所、2階に放課後児童クラブを設置します。また、スクールコミュニティを設け、学校と地域の交流を担う施設としても活用する予定です。

図1 伊達市の児童生徒数の推移

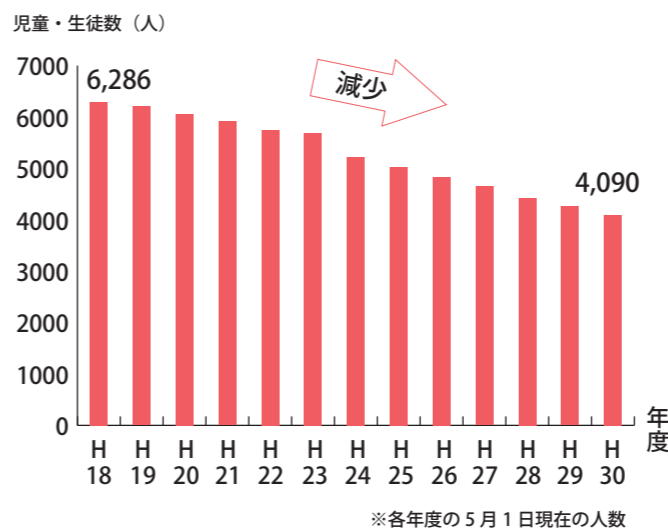
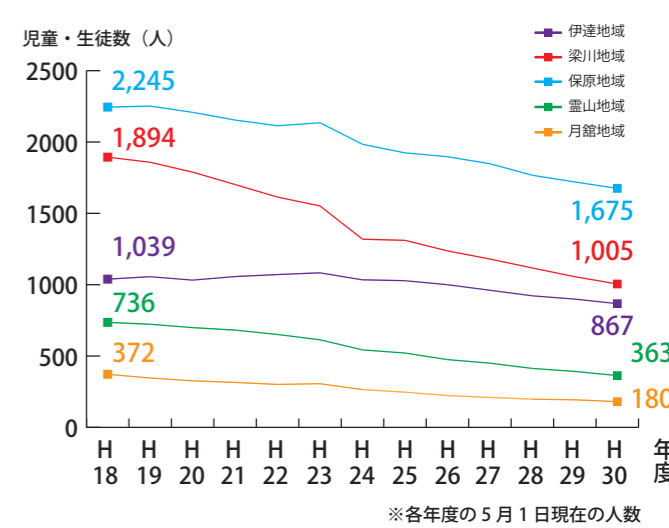


図2 地域別の児童生徒数の推移



# 学校統合を経験して良かったことを教えてください！

平成 29 年、梁川地域の 5 校と梁川小学校が統合しました。2 年間で振り返って、統合して良かったと思うことや、挑戦したことをお話してもらいました。

※学年は平成 30 年度時点



梁川小学校 5 年  
(旧五十沢小出身)  
菅野 真虎さん

## 体育の授業が楽しみ

体育の授業で、今まではできなかったチーム戦ができることが楽しいです。チーム対抗やクラス対抗がおもしろくて、体育の授業が毎回楽しいです。

## 迫力のある演奏ができた

学年だけで 80 人以上いるので、地区演奏会で迫力のある演奏ができ、お褒めの言葉をたくさんいただきました。たくさんの種類の楽器を選べることも良かったです。



梁川小学校 4 年  
(旧富野小出身)  
福地 奏穂さん

## 授業でいろいろな考え方を学べる

みんなそれぞれ得意な問題や苦手な問題があるから、友達同士で教え合うことで、苦手な問題が得意になったりと、協力したり助け合ったりすることを学びました。いろいろな人の考えが聞けるので勉強が楽しくなりました。



梁川小学校 5 年  
(旧白根小出身)  
山川 七海さん

## 鼓笛演奏でシンバルに挑戦

運動会や交通安全パレードで鼓笛演奏をしました。大枝小ではマーチングキーボードの担当でしたが、梁川小で初めてシンバルを担当しました。人数が多い分、迫力のある演奏ができてびっくりしました。



梁川小学校 5 年  
(旧大枝小出身)  
みきわ りんと  
實沢 琳斗さん

## みんなで協力した宿泊学習

宿泊学習は 1 泊 2 日で猪苗代に行きました。班別で行動することができたので、とても楽しかったです。なんでも協力してできるのが良かったです。



梁川小学校 5 年  
(旧山舟生小出身)  
星 楓夏さん

## 友達がたくさんできた

休みの日も出身校に関係なく友達と遊んだりしています。統合の時は友達ができるか不安でしたが、すぐに友達ができ、その不安は消えました。



梁川小学校 5 年  
(梁川小出身)  
しゅうと  
小関 秀翔さん

## インタビュー

### interview



梁川小学校  
二階堂 康男 校長先生

## 新しい梁川小の土台づくり

平成 30 年度は、統合して 2 年目の年でした。五十沢、富野、山舟生、白根、大枝、そして梁川の 6 つの小学校が一つとなり、新しい梁川小学校をつくる大切な年でした。子どもたちは、地域に関係なくたくさんの友達とかわり、お互いに協力し合いながら、新しい梁川小学校の土台をしっかりと築くことができました。

学習発表会で各地域の特色を生かしたプログラムにして統合を意識した教育活動を実施しました。



平成 29 年度の運動会の種目「スクールバスで GO！」

2 年目を振り返って  
統合 1 年目は、運動会や

2 年目は特別な活動は実施していませんが、子どもたちが仲良くなるのは早いもので、普段の学校生活の中で、自然と仲良くなって

子どもたちの視野が広がる  
統合対象となった 5 校では、それぞれの学校ごとに地域の伝統や文化に根差した、特色のある学習が行わ

子どもたちの視野が広がる  
統合対象となった 5 校では、それぞれの学校ごとに地域の伝統や文化に根差した、特色のある学習が行わ

子どもたちと地域をつなぐ  
学校は子どもたちにとっての学びの場であると同時に、地域のシンボルでもあります。学校と地域が一体となって教育活動が行われているなど、子どもたちと地域をつなぐコミュニティの拠点として、重要な役割を果たしています。

統合によって地域から学校がなくなっても、子どもたちが健やかに成長していくには、学校生活だけでなく、地域での世代間交流を通して、学びの機会を持つことが大切なことになり、地域と学校をつなぐ場のひとつとして、「スクールコミュニティ」を設けるなど、子どもたちと地域の関係を継続しながら、地域全体の教育力の向上とコミュニティの形成を目指していきます。